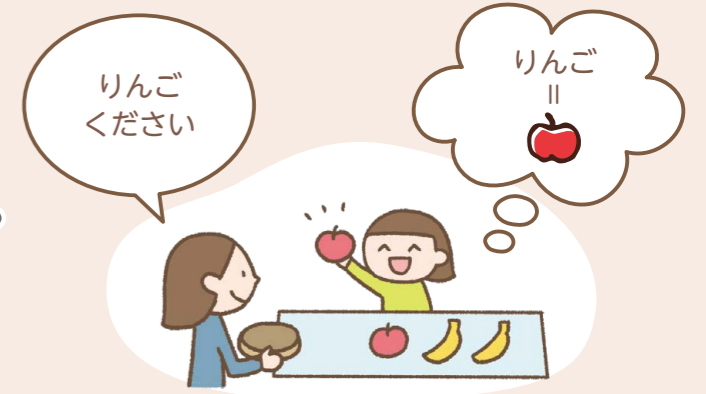


聞く力を 育てるために

- ①音を聞き分け、
 - ②語音のまとまりを単語として意識する力を伸ばしましょう。
- 音と単語が結びつくことで、聞いたことばを理解することができます。



①音を聞き分ける力

音の違いに気づき、何の音かわかること



音当てクイズ

音の大小・高低・音色の違いに注意させましょう。どの方向から聞こえたか意識すると距離感や方向感覚が育ちます。

リズムあそび

音に合わせて、止まったり、動いたりしましょう。集中して聞く力が育ちます。



②語音のまとまりを単語として意識する力

単語をつくっている
ひとつひとつの音をつかまえること

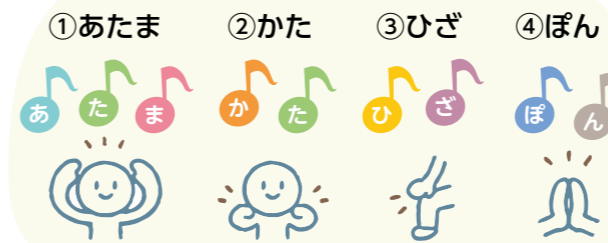


手あそび

童謡やわらべうたなど、ひとつの音符にひとつの音をのせた歌は、語音のまとまりを単語として意識しやすくなり、語彙を増やします。また、ひとつひとつの音を意識し、真似することで正しく発音する力も育ちます。

ことば探し

「さかさことば」や「〇のつくことば(例「あ」あたま、あし)」あつめをしてみましょう。文字からことばをイメージする力が育ちます。音と文字の対応関係の理解も深まります。



聞こえとは?

音をとらえる器官である耳からの音声情報を脳が認識することです(図1【聞こえの仕組み】参照)。聞こえにくさが気になる場合は、専門機関に相談するとよいでしょう。

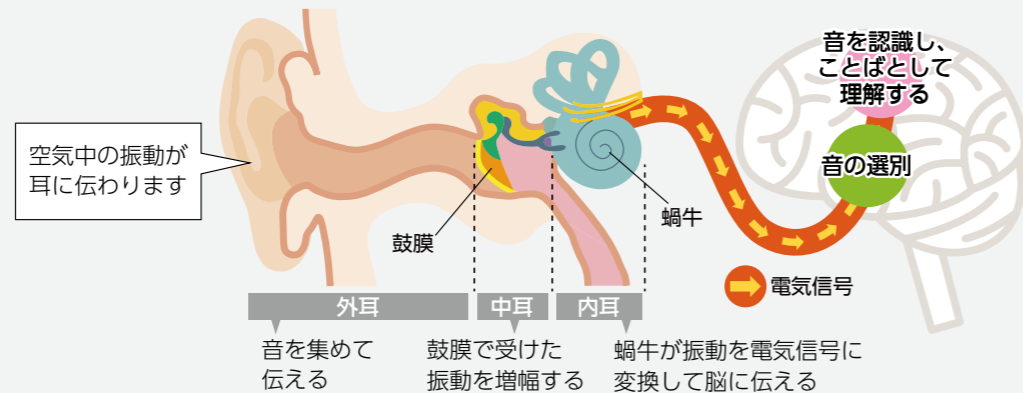


図1：聞こえの仕組み

聞く力を育むために大切なこと

日常生活にはさまざまな情報があふれています。聞く力を育むためには、**聞くことに集中できる環境づくりが大切**です。静かな場所で相手が聞き取りやすいように、ゆっくり、はっきり話すことを心がけましょう。
子どもは、**音に集中して聞く体験を積むことが大切**です。クイズ・伝言ゲーム・お店屋さんごっこなどの遊びを通して、「じっくり聞いてわかった！」経験を増やしましょう。



言語聴覚士
三吉 聡子先生